

証券コード：2397

第16期 事業報告書

平成26年4月1日～平成27年3月31日



代表取締役社長
的場 亮

ごあいさつ

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

昨今の遺伝子を中心としたバイオテクノロジー技術の進歩は目覚ましく、それらを利用した新しい発見や研究成果などから、医療分野への応用が広がっています。一方で、世界的な超高齢化社会を迎えるにあたり、我々は、労働力の減少、年金や社会保証の問題など、様々な社会問題を抱えています。特に、国民医療費は年々増加し、国の財政の多くを占めており、これを解決するためには、予防医療のための（病気にならないための）新しい診断ツール開発が期待されています。

DNAチップ研究所は設立以来、ライフサイエンス分野を通じて、遺伝子やゲノ

ムのエキスパートとして優れた技術開発をしながら、世の中に役立つ、研究開発、商品開発を行い、サービスを展開してまいりました。そしてさらに、情報化時代に即した、最新の技術を取り入れるとともに、独自技術開発により最先端の研究開発ができる体制を整えて、誰もが健やかに、幸せに暮らせるための診断ツール開発を行ってまいります。

当期の経営成績

当期におけるわが国経済は、円安・株高基調が継続し、輸出企業を中心に企業収益が改善され景気は緩やかな回復傾向にあるものの、消費税増税や円安進行による物価上昇により個人消費の回復は鈍く、国内景気は先行き不透明な状況で推移しております。

当社を取り巻くライフサイエンス分野においては、高齢社会を迎えて糖尿病などの慢性疾患や認知症などの脳神経疾患に加え、エボラ出血熱、デング熱などの新たな感染症が世界中に広がる恐れがあるなど21世紀の医療は新たな課題の解決を迫られています。

一方、iPS細胞などを利用した再生医療などの新たな治療薬の開発が進展し始めています。

アベノミクスの第3の矢の目玉の一つである日本版NIH構想のなか、2015年4月に日本医療研究開発機構（AMED）が設立され、トップダウンで実用化の出口を見据えつつ、基礎研究の有望な成果について実用化まで各省庁横串で一貫したマネジメントのもと実施されることとなります。

このことにより、わが国の健康医療分野におけるイノベーションを製品化という形で社会還元する仕組みが整いつつあることは、当社が属するライフサイエンス分野にとって、今後の明るい材料となっております。

このような状況下において、当期の目標を「研究開発から事業化へ加速」と定め、研究受託事業の重点化とメニューの充実及び診断関連事業拡充による収益構造の改革を推進しております。

この結果、当期の売上高は、357百万円（前期比102.4%）、営業損失は99百万円で、経常損失は119百万円、当期純損失は135百万円となりました。

研究受託

大学や研究機関、製薬・食品会社等を主な顧客としてDNAチップ、次世代シーケンス関連の解析や統計処理等を行っております。主要なサービスとして受託サービスと診断サービスがあります。

i. 受託サービス

マイクロアレイを使用した受託解析サービスと次世代シーケンス解析サービスが主力のサービスであります。

マイクロアレイ受託解析サービスでは、製薬会社、食品会社等への提案型営業を行うとともに、大学病院、研究所等の顧客に対しては、きめ細かなフォローを推進しました。また、次世代シーケンス解析サービスでは、お客様との対話を重視し、データ解析とサポートに力を注いでまいりました。いずれのサービスも他社との差別化を意識し、新規サービスメニューの拡充を図るとともに、既存サービスのアップデートを含め、クオリティの高い内容をお客様に提供すべく取り組んでおります。

ii. 診断サービス

診断サービスにおきましては、「リウマチチェック」（関節リウマチの薬剤効果予測検査）の多剤効果予測検査サービス及び「免疫年齢」サービスの拡充、新規サービス「EGFRチェック」（肺がん患者を対象とした組織由来DNA変異検出）の開始に向けた取組みに全力を注いでおります。

その結果、当期の売上高は、340百万円（前期比101.5%）となりました。

商品販売

DNAチップ解析を体験できるキットである「ハイブリ先生」を主に高校・大学に対して、iPad環境（その互換環境を含む）で稼働するソフトウェア・パッケージ製品「iRIS：関節リウマチ問診システム」を医療機関の関節リウマチの診断現場に対して、それぞれ受注拡大を推進し、当事業年度は「ハイブリ先生」を59セット、iRISを8セットそれぞれ販売いたしました。また、DNA抽出用キット「TBONE EX KIT」をDNA鑑定実施機関の警察機関、大学法医学を中心に37セット販売いたしました。

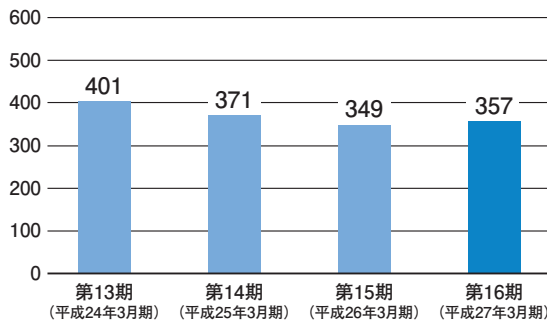
その結果、当期の売上高は、17百万円（前期比123.8%）となりました。

平成27年6月

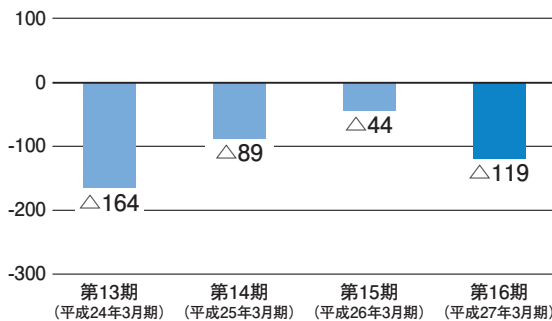
代表取締役社長 的場 亮



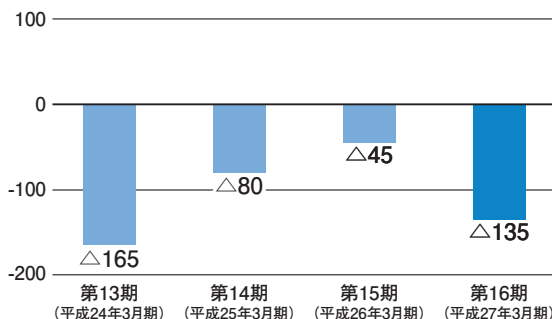
■ 売上高 (単位：百万円)



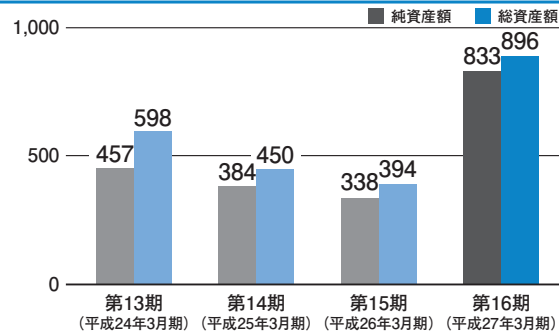
■ 経常利益 (単位：百万円)



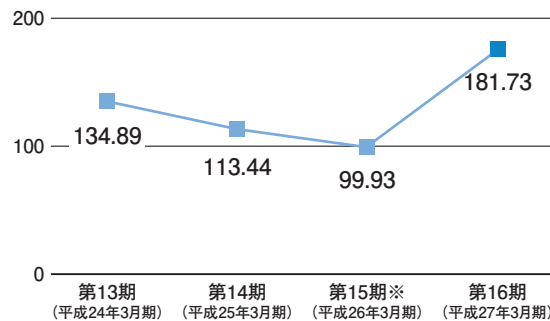
■ 当期純利益 (単位：百万円)



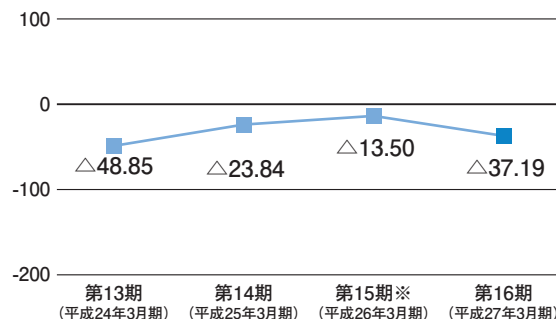
■ 純資産額／総資産額 (単位：百万円)



■ 1株当たり純資産額 ※ (単位：円)



■ 1株当たり当期純利益 ※ (単位：円)



※注1 平成25年10月1日付けで普通株式1株につき普通株式100株の割合で株式分割を行っております。第14期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産額、当期純利益を算定しております。

※注2 平成26年12月8日に第三者割当増資により発行済株式は848,000株増加しました。

財務諸表

貸借対照表

(単位：千円)

科目	前事業年度 平成26年3月31日	当事業年度 平成27年3月31日	科目	前事業年度 平成26年3月31日	当事業年度 平成27年3月31日
資産の部			負債の部		
流動資産	373,601	892,704	流動負債	52,981	60,362
現金及び預金	226,135	790,908	買掛金	21,866	35,101
受取手形	25,920	20,996	未払金	7,350	1,267
売掛金	93,354	66,750	未払消費税等	1,974	963
商品	4,937	1,907	未払法人税等	3,541	4,289
仕掛品	11,267	—	未払費用	17,217	17,634
貯蔵品	4,445	3,023	預り金	1,030	1,104
前払費用	6,964	8,675	固定負債	2,300	3,110
その他	576	442	退職給付引当金	2,300	3,110
固定資産	20,417	4,162	負債合計	55,281	63,473
有形固定資産	18,726	1,456	純資産の部		
建物	66	0	株主資本	338,737	770,090
工具、器具及び備品	18,660	1,456	資本金	1,116,368	1,400,024
無形固定資産	1,484	2,500	資本剰余金	1,028,918	1,312,574
施設利用権	582	0	資本準備金	1,028,918	1,312,574
ソフトウェア	902	2,500	利益剰余金	△1,806,549	△1,942,464
投資その他の資産	206	206	その他利益剰余金	△1,806,549	△1,942,464
投資有価証券	0	0	繰越利益剰余金	△1,806,549	△1,942,464
その他	206	206	自己株式	—	△43
資産合計	394,018	896,866	新株予約権	—	63,303
			純資産合計	338,737	833,393
			負債及び純資産合計	394,018	896,866



損益計算書

(単位：千円)

科目	前事業年度		当事業年度	
	自平成25年4月1日 至平成26年3月31日		自平成26年4月1日 至平成27年3月31日	
売上高		349,065		357,321
売上原価		251,073		310,293
売上総利益		97,992		47,027
販売費及び一般管理費		142,773		146,456
営業損失(△)	△	44,781		99,428
営業外収益		50		257
受取利息		50		137
為替差益		—		119
その他		0		0
営業外費用		12		19,882
株式交付費		—		8,105
新株予約権発行費		—		11,776
その他		12		—
経常損失(△)	△	44,743		119,053
特別損失		83		15,875
減損損失		—		15,398
固定資産除却損		83		477
税引前当期純損失(△)	△	44,826		134,928
法人税、住民税及び事業税		950		986
法人税等調整額		—		—
当期純損失(△)	△	45,776		135,915

キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度		当事業年度	
	自平成25年4月1日 至平成26年3月31日		自平成26年4月1日 至平成27年3月31日	
営業活動による キャッシュ・フロー		△34,463		△30,740
投資活動による キャッシュ・フロー		△5,094		△15,176
財務活動による キャッシュ・フロー				610,689
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)		△39,557		564,773
現金及び現金同等物の 期首残高		265,692		226,135
現金及び現金同等物の 期末残高		226,135		790,908

株主資本等変動計算書

(自平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本						自己株式	株主資本 合計	新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		繰越利益 剰余金				
		資本準備金	資本剰余金 合計	その他利益 剰余金	利益剰余金 合計					
当期首残高	1,116,368	1,028,918	1,028,918	△1,806,549	△1,806,549	—	338,737	—	338,737	
当期変動額										
新株の発行	283,656	283,656	283,656				567,312		567,312	
当期純損失(△)				△135,915	△135,915		△135,915		△135,915	
自己株式の取得						△43	△43		△43	
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)								63,303	63,303	
当期変動額合計	283,656	283,656	283,656	△135,915	△135,915	△43	431,352	63,303	494,656	
当期末残高	1,400,024	1,312,574	1,312,574	△1,942,464	△1,942,464	△43	770,090	63,303	833,393	

事業の内容

■ 研究開発

DNAチップ研究所は、ライフサイエンス研究とバイオ産業に貢献する研究開発型ベンチャー企業です。以下を常に心がけ、研究に取り組んでいます。

1. 「創造的革新」をモットーに
2. グローバル化を意識した最高レベルの技術を磨き
3. 信頼関係に基づく共同研究と自己啓発に努め
4. 国際的情報収集、先進的情報解析能力を駆使し
5. この分野で第一の研究ベンチャーとして
6. レベルの高い研究成果を出すのに貢献する

■ 研究テーマ

→RNAチェック™

- 関節リウマチ薬剤効果予測、疾患マーカー探索
- 大腸癌診断用チップの開発とそれを用いたステージⅡ大腸癌の予後予測
- 悪性神経膠腫（グリオーマ）の予後予測アルゴリズムの開発
- うつ病マーカー探索
- 免疫年齢



■ 受託サービス

異なるプラットフォームを用いた多面的な研究受託サービスメニューの提供をいたします。実験計画のお手伝いから、実験、統計解析、論文作成など専門のスタッフが細やかにサポートいたします。



- マイクロアレイを用いた遺伝子発現解析、miRNA発現解析、ゲノム構造解析
- 次世代シーケンサを用いた遺伝子発現解析、Small RNA解析、エクソーム解析、メチレーション解析
- Real Time PCRによる遺伝子発現解析、miRNA発現解析
- 統計解析サービス

■ 製品／診断サービス（研究用）

製品

-  ハイブリ先生 教育用DNAチップ教材
-  TBONE EX Kit：硬組織（歯牙・骨）用DNA抽出キット
- iCIS 臨床現場で研究に必要なデータをデータベース化する臨床インフォマティクス支援ソリューション
- iRIS 臨床現場向けの簡易な症状入力と診断情報の入力可能な関節リウマチ問診システム

診断サービス（研究用）

-  リウマチチェック 関節リウマチ生物学的製剤インフリキシマブの効果予測検査サービス
-  MammaPrint（マンマプリント） 乳癌の再発リスクを予測する新しい検査サービス
- 免疫年齢：遺伝子発現による生体年齢予測検査サービス
- DiVA-EGFRチェック：血しょう遊離DNAのEGFR遺伝子低頻度変異検出サービス



会社の概況

■ 会社概要

会社名 株式会社 DNAチップ研究所
英文名 DNA Chip Research Inc.
設立年月日 1999年4月1日
住所 神奈川県横浜市鶴見区末広町1-1-43
資本金 140,002万円
従業員 21名 (内Ph.D. 8名 役員含)
役員 代表取締役社長 的場 亮
 取締役 リム チュンレン
 取締役 横田 大輔
 社外取締役 田村 卓郎
 社外取締役 片山 登喜男
 社外監査役 山田 國夫
 監査役 大塚 榮子
 監査役 酒井 崇
 社外監査役 吉田 春樹
加盟団体 社団法人バイオ産業情報化コンソーシアム(JBIC)
 財団法人バイオインダストリー協会(JBA)
 NPO法人 バイオチップコンソーシアム (JMAC) 等

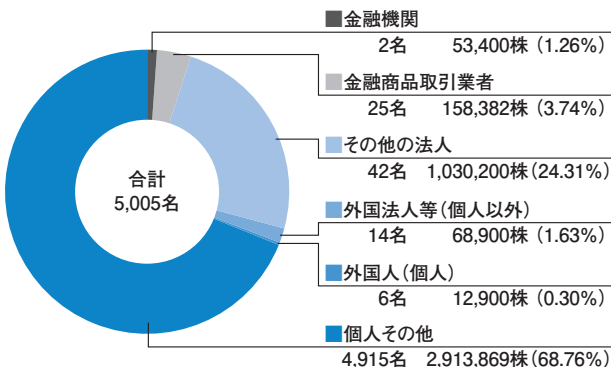
■ 株式の状況

①発行可能株式総数 10,080,000株
 ②発行済株式総数 4,237,700株
 (自己株式49株含む)
 (注) 平成26年12月8日付で第三者割当増資により発行済株式は848,000株増加しました。
 ③株主数 5,005名

■ 大株主

株主名	持株数	持株比率
(株) エンブラス	848,000株	20.01%
松原 謙一	70,000株	1.65%
森 淳彦	70,000株	1.65%
(株) サン・クロレラ	70,000株	1.65%
井上 伸一	63,500株	1.49%
枝松 七郎	63,400株	1.49%
日本証券金融(株)	53,300株	1.25%
大塚 榮子	48,000株	1.13%
藤尾 晋作	47,900株	1.13%
(株) SBI証券	46,400株	1.09%

■ 株主分布状況



■ 株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで

剰余金の配当 3月31日（期末配当金）

受領株主確定日 9月30日（中間配当金）

定時株主総会 6月

公告掲載方法 電子公告

電子公告は当社のホームページに記載しております。

ホームページアドレス

(<http://www.dna-chip.co.jp/>)

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社

特別口座の

口座管理機関 東京証券代行株式会社
東京都千代田区大手町二丁目6番2号
（日本ビル4階）

（郵便物送付先） 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
（連絡先） 〒137-8081
東京都江東区東砂七丁目10番11号
電話 0120-232-711（通話料無料）

・住所変更等のお申出先について

お取引口座のある証券会社にお申出ください。ただし、特別口座に記録された株式に係る各種手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関である東京証券代行株式会社にお申出ください。

（ご案内）

少額投資非課税口座（NISA口座）における配当等のお受け取りについて

新規に購入された当社株式をNISA口座でご所有される場合、配当等につき非課税の適用を受けるためには、口座管理機関（証券会社等）を通じて配当等を受け取る方式である「株式数比例配分方式」をお選びいただく必要があります。

ご所有の株式のうち、特別口座に記録された株式をお持ちの株主様は「株式数比例配分方式」をお選びいただくことができませんのでご注意ください。

NISA口座に関する詳細につきましては、お取引の証券会社等にお問い合わせください。

■ 当社ホームページのトップ画面



<http://www.dna-chip.co.jp/>